

11 教員組織

進捗状況報告

文学研究科の専任教員は、2008年4月現在、77名を数え、その内訳は教授67名、准教授10名である。このうち前期課程指導教員は学部の教授をもって充てるが、博士学位を要件として准教授の任用を認めており、現在6名の准教授が任用されている。後期課程指導教員は、現在教授61名、准教授2名が任用されている。前期課程指導教員への准教授の任用については促進されている。後期課程への優秀な若手教員の任用については、学部の人事任用制度において2007年度からポイント制が導入されたことを受けて、今後増加していくことが期待される。

なお、人事手続きに関しては、2004年度から文学研究科人事委員会が主体的に発議を行い、透明性のある厳正な人事が行われている。

学内第三者評価

若手教員の任用について具体的な方策が採られており、今後その成果が現れてくることが期待される。人事に関する客観性と透明性の確保に着実な進展があることが認められる。

なお、学外委員からは以下の意見があった。
若手教員の積極的な任用を期待したい。